

# 古河機械金属株式会社 150年のあゆみ

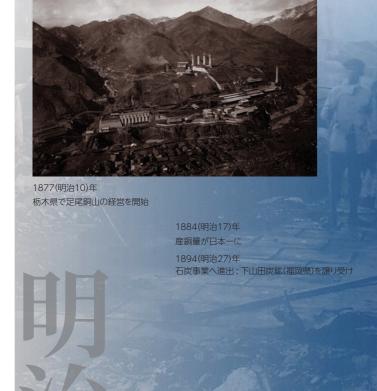
1875年の創業以来、幾多の困難を乗り越え、新しい技術・製品の開発を進めるなど、変化を恐れず、常に挑戦し続けてきた古河機械金属グループの 150年。先達から受け継いだ技術・精神をもとに、「社会の筋肉」として、これからも社会に必要とされる企業であり続けます。

剧業者 古河巾兵衛

1875年



1875(明治8)年 新潟県で草倉銅山の経営を開始(創業)





# すべては、鉱山から始まった





2021(令和3)年 古河機械金属グループ本社機能を集約し、東京・大手町の「常盤橋タワー」に移転する

2025年

150



1 FURUKAWA CO., LTD.

## 経営理念・行動指針・長期ビジョン

## 古河機械金属グループの経営理念

古河機械金属グループは、鉱山開発に始まり

社会基盤を支えてきた技術を進化させ、

常に挑戦する気概をもって

社会に必要とされる企業であり続けます。

経営 理念

2025年ビジョン

**FURUKAWA Power & Passion 150** 

行動指針

変革 創造 共存

#### 行動指針

私たちは、経営理念を実現するために、「運・鈍・根」\*の創業 者精神を心に刻み、「変革・創造・共存」を行動指針として実践し ます。

変革

未来に向けた意識改革により 絶えざる自己革新を行う。



市場のニーズに対応し、信頼され、 魅力あるモノづくりを目指す。



経営の透明性を高め、環境と調和した 社会の発展に貢献する。

※「運・鈍・根」とは、人間にとって最も大切なのは運だとしても、何か重要なことをやり遂げるには愚 鈍さと根気が必要だということを意味しています。

#### 2025年ビジョン

#### **FURUKAWA Power & Passion 150**

「カテゴリートップ・オンリーワンを基軸として成長する 企業グループの実現

--- 創業150周年を迎える2025年度に向けて、 連結営業利益150億円超の常態化を目指します ---

2015年8月8日制定

#### **FURUKAWA**



Power&Passionは「力強さ・スピード」と「熱意・情熱」という仕事に取り組む姿勢・想いを、赤の真円 はお客さまとの輪・絆を結ぶことを、150はビジョン達成年度である150周年をそれぞれ表現したも

### 2025年ビジョンの位置づけと道筋

経営理念を具現化するのが長期ビジョンです。長期ビジョンを実現するための道筋として、古河機械金属グループでは短期・中期・ 長期計画をもってアクションプランを実行しています。2025年度は2025年ビジョンの最終年度となるため、次期長期ビジョンについては、 2025年11月に発表する予定です。

### 次期長期ビジョン

### 2025年ビジョン **FURUKAWA Power & Passion 150**

#### 長期経営計画・長期戦略

#### アクションプラン



・サステナビリティへの 取り組みに関する

・事業ポートフォリオ戦略 マテリアリティ(重要課題)

#### アクションプラン

· 経営戦略会議

開発委員会

(中計の前進ローリング)・サステナビリティ推進会議

#### 単年度予算・計画 アクションプラン

- 経営戦略会議 ・開発委員会
- ・サステナビリティ推進会議 経営役員会

#### 「2025年ビジョン」達成のための方針

#### 1 CSV\*1の視点を織り込んだ「マーケティング経営」\*2に よる古河ブランドの価値向上

マーケティングを経営の根幹に据え、激変する市場の中で 価値を認められる製品やサービスを提供し、顧客が抱えてい る課題を解決することにより「企業価値の向上と持続的な成 長」を成し遂げるとともに、SDGs (持続可能な開発目標)をは じめ、我が国における国土強靭化、生産年齢人口の減少など、 様々な「社会課題」を解決し「持続可能な社会の実現」に貢献し ていく。

- 顧客ニーズを捉えた技術営業力(提案型・ソリューション型) の強化
- 市場ニーズに合致した製品・技術・サービスの開発
- 強みを活かせるニッチ製品への集中と差別化戦略による カテゴリートップ化の推進
- 新たな市場・カテゴリーの開拓・創造と新たなビジネス モデルの構築
- 社会基盤を支えてきた製品・技術・サービスを進化させ、 「社会課題」の解決に貢献

#### 2 機械事業の持続的拡大

- インフラ関連・資源開発等を中心に拡大する海外市場にお ける収益基盤の強化
- ストックビジネスの拡充・強化
- グループ総合力の発揮、エンジニアリング力の強化による ビジネスチャンスの拡大

#### 3 人材基盤の拡充・強化

- 新しい古河の活力あふれる人づくり・風土づくり
- 国内外の多様な人材の確保・活用・育成
- 営業・サービス人材の重点強化

#### 4 企業価値向上に資する投資等の積極的推進

- 成長に必要な設備投資の積極的実施
- 戦略的なM&A、アライアンスによる事業拡大

#### 5 経営基盤の整備

- 二桁台のROEを意識した収益性・資本効率の改善による 企業価値の向上
- 堅固な財務基盤の確立
- 成長投資と株主還元へのバランスのとれた配分
- 当社グループの CSR/ESG 課題に配慮した事業運営の実践 による企業価値の向上

3 FURUKAWA CO., LTD. Integrated Report 2025 4

<sup>\*\*1</sup> CSV (Creating Shared Value:共通価値/共有価値の創造):企業が社会問題や環境問題などに関わる社会課題に取り組み、社会価値と企業価値を両立させようとする経営フレームワーク。

<sup>\*\*2</sup> マーケティング経営:「マーケティング経営」とは、マーケティングを経営の根幹に据え、激変する市場の中で価値を認められる製品やサービスを提供するとともに、顧客が抱えている課題や問題を見つけ出し解決するこ とにより、顧客との絆を深めながら、持続的に成長し企業価値を高めていくことです。